

西原村議会だより【ゆうすい】

第121号 令和3年5月6日発行



# Yûsui

NISHIHARA VILLAGE GIKAI DAYORI



NO.121

2021.5.6

## CONTENTS

- ◆ 3月定例会／P2～3
  - ・ 令和3年度 西原村一般会計当初予算
  - ・ 令和3年度 西原村特別会計等予算
  - ・ 復旧復興予算から創造的復興予算へ
- ◆ 3月定例会／P4～5
  - ・ 令和3年度 一般会計当初予算等 質疑応答
  - ・ 令和2年度 一般会計補正予算 質疑応答
- ◆ 一般質問／P6～7
  - ・ 役場敷地内に求人案内掲示板は設置できないか
  - ・ 近隣市町村と協力して今以上の観光客を呼び込む考えはないか
  - ・ 自転車損害保険加入の義務化における村の取り組みは
  - ・ 小中学校での交通安全指導や自転車の点検・整備の取り組みについて
- ◆ 初の公有財産売却!!／P8
- ◆ 各組合議会報告
- ◆ 復興対策特別委員会報告／P9
  - ・ 震度7から5年新たなステージへ
- ◆ 総務福祉常任委員会報告／P10
  - ・ コロナ対策ワクチン模擬接種
- ◆ よこていきなっせ／P11
  - ・ 宮山神社《八王社》再建!!
- ◆ 職場からごんにはは・編集後記／P12

元気いきいき!!

全国の頂点を目指して  
『完全燃焼!!』



西原村学童野球クラブ／部員募集!! (担当: 緒方 Phone 090-7165-5850)

一昨年度までは、一般会計・特別会計予算計上時は順調な運びを想定していたが、昨年当初より新型コロナウイルスの発生により、不安な1年を過ごしてきた。

現在、熊本地震復興の兆しを見据えても、新型コロナウイルス発生や変異コロナウイルス発生により先行き不透明な状態にある。今後も震災復興同様、村民をはじめ執行部・議会が一丸となって対処していく!!

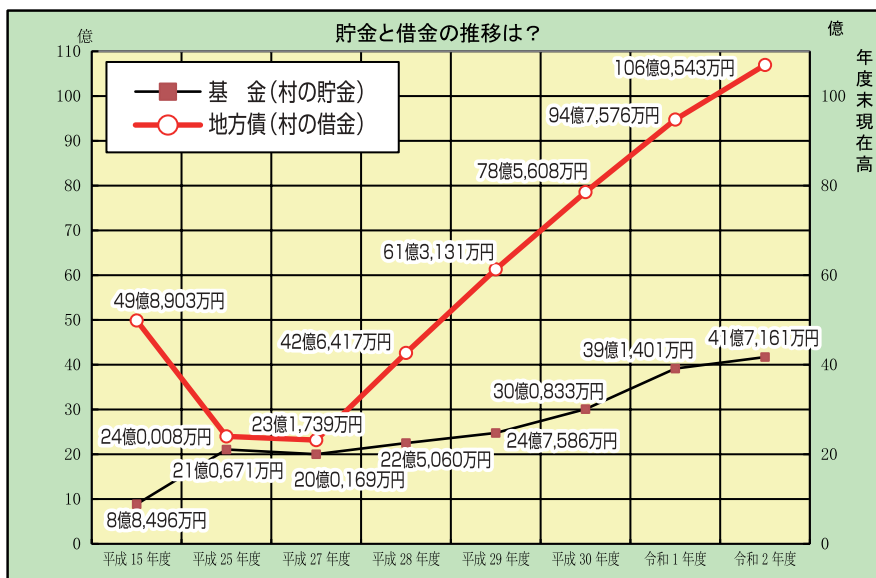
## 令和3年度当初予算 総額70億5,540万円 成立

### 一般会計予算50億4,779万円 《前年度比7億2,564万円減(12.6%減)》

#### 令和3年度各特別会計予算

項目	特別会計予算額	増減割合
国民健康保険	9億4,977万円	1.9%増
介護保険	7億5,317万円	1.8%増
後期高齢者医療	1億6,915万円	2.0%増
中央簡易水道	1億0,112万円	8.7%減
工業用水道	2,433万円	31.9%増

※各金額はわかりやすく表示するため万円単位とし、表示単位未満を四捨五入しています。



3月  
定例会

3月10日から17日までの8日間の会期で開催された。令和3年度一般会計予算・特別会計予算及び令和2年度補正予算や指定管理者の指定など21件の議案審議がなされ全議案が可決された。一般質問は15日に2名の議員が行い、主に交通事故防止に向け対策等を質した。最終日には河上監査委員の再任同意もなされた。

※平成28年熊本地震後の平成28～令和2年度にかけて、熊本地震関連事業を主とした地方債実質借入額は107億円弱となる見込みだが、おおそ10～20年にかけて償還する元利償還金に対し、国が定める借入対象各事業における各々の率において地方交付税の措置(災害復旧国庫補助事業においては95%の交付税措置等)があり、平成28年度以降の地方債予算計上額132億円のうち、村の実質負担額は20億円程度(借入額の約15%)になる見込み。〈国の交付税措置により〉

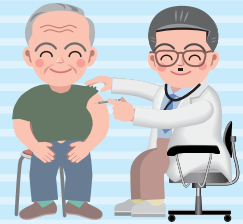
※基金残高については、令和2年度において4億5千万円の取崩しを行ったが、財政調整基金や公共施設整備基金等に7億1千万円の積立を行ったことにより、基金総額としては前年度と比較し約2億5千万円増となる見込み。



熊本地震発生から5年!! 復旧復興予算から創造的復興予算へ  
総合計画に基づき予算を視てみよう!!  
《一般会計予算から主なものを記載しております。》

- 運動公園整備事業及び体育館備品等購入事業  
防災公園内の運動公園整備工事費用及び管理用備品等購入費  
《公園内運動広場の整備費用及び体育館内備品(ネット・支柱)等購入費》

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業  
住民へのワクチン接種費用及び接種体制確保費用  
《感染拡大防止のためのワクチン予防接種負担金・集団接種による会場設営費用等》



- 子ども医療費助成事業  
子ども医療費の一部助成事業  
《中学生(15歳)までの対象から高校生(18歳)まで年齢引上げ》  
※詳細については、住民福祉課へお尋ねください。



- 防火線設置補助事業  
原野火災時の延焼防止のため、事業費5割補助から8割補助へ  
《村有原野・村有山林・集落造林等の保全事業》

- 小型動力ポンプ付積載車等購入事業  
消防団活動における消防積載車等(購入費)  
《長年使用してきた消防積載車更新(計画的買替)》



- 新築住宅建築福祉用具設置補助事業  
住宅新築時の介助用具設置に係る費用の助成  
《新築住宅建築時に対して20万円を限度に助成》  
※詳細については、住民福祉課へお尋ねください。



- 結婚新生活支援事業  
新婚世帯への新生活スタートに係るコスト支援補助費用  
《新婚世帯の村内居住を条件に対しての補助》  
※詳細については、住民福祉課へお尋ねください。



- 【その他】  
主な事業費については、広報にしはら5月号に掲載されていますので、そちらもご覧下さい。

令和3年度3月定例会  
質疑応答

《令和3年度》  
一般会計当初  
予算等から

【問】震災後のふるさと納税の推移は。

【企画商工課長】本年度2月末現在4億1,647万9千円。昨年度が、5億208万1千円である。

【問】結婚新生活支援事業補助金の内訳は。

【住民福祉課長】家賃や引越し費用の補助金。要件は、夫婦で合算所得が400万未満の方が対象。

【問】現在、教育委員会の祭壇貸付の利用状況は。

【教育課長】役場の祭壇を使って葬儀をされる方はいない。現在は、戦没者の慰霊の式典のみ使用している。



役場貸付用祭壇

【問】地籍調査事業の補助金2,250万円の内容は。

【産業課長】熊本地震において布田川断層帯辺りの座標杭がずれたことによる補正作業を行う。

【問】近年豪雨災害が多いが、村内の河川浚渫工事を県にお願いできないか。

【復興建設課長】緊急浚渫推進事業で令和2年度から5年間緊急的に行われている事業があり、本村では鳥子川、木山川、布田川全ての河川に対して要望書を提出している。

【問】福祉タクシー料金助成事業利用補助金が630万円の内訳は。

【住民福祉課長】免許証返納の方についてタクシー券20枚を追加発行している。また、1回の利用額を1,000円から1,500円に引き上げた。



【問】新年度より粗大ごみの搬出の方法が変わると伺っているが周知の方法は。

【保健衛生課長】3月に各家庭に配布したごみカレンダーの中に粗大ごみの新しい出し方を載せている。また、ホームページと広報誌等で周知を行う。



【問】暖かくなる一方で頻繁に迷惑をかけてくる暴走族対策は。

【総務課長】大津警察署と協議しながら対応させていただく。

【問】がけ地近接危険住宅移転事業補助金と土砂災害危険住宅移転促進事業補助金の内容は。

【復興建設課長】がけ地近接危険住宅移転事業補助金は、移転した住居の建設費や土地購入

費の借入金の子補給。土砂災害危険住宅移転促進事業補助金は、熊本地震により被災された方の移転費用を300万円を上限として補助するもの。

【問】有害鳥獣捕獲補助金にイノシシ、鹿の他にアナグマが加わっているが。

【産業課長】アナグマに関しては県と協議し頻繁に出てきているので、計画捕獲となり、国の補助金対象となった。



箱わたのアナグマ

【問】農作物被害防止の電柵補助金の要件が3戸以上の要件となっているが、緩和できないか。

【産業課長】昨今、若干の見直しが行われると聞いている。「連担した3戸以上」が「農道等をつながる3戸以上」が申請可能とされている。



【問】小型ポンプ積載車が3台購入予定だが、消防団員にはオートマ限定免許資格者がいるが、どのような仕様なのか。

【総務課長】全て普通免許で対応できるオートマチック車の購入である。



【問】河原小児童減少防止対策補助金はどのようなものか。

【教育課長】山西校区から河原小学校に通学している児童に対し月1万円の補助金を出しているもの。現時点で10名おられる。

【問】にはら女性活動推進協議会活動補助金の内容は。

【教育課長】女性セミナーとして女性活動の中でいろんな活動をして頂くという団体に支払っている補助金である。

### 《令和3年度》 特別会計

#### 予算から

#### 【国民健康保険】

【問】永広医院が閉院され、村内には「のむら内科クリニック」一ヶ所になるが、高齢者の利便を図る為、「のむら内科クリニック」前にバス停の設置は出来ないか。

【村長】現在、山西小入口から割に近いが、できるかできないか分からないけれども産交バスに話してはみる。



#### 【介護保険特別会計】

【問】今回、福祉センター検討委員会が設置されるが、包括支援センターもこの委員会で検討出来ないか。

【村長】のぎく荘、社協の拡充、拡張等の検討委員会であるが、包括支援センターの事務所を含めて検討する。

#### 【中央簡易水道】

【問】手数料の開閉栓手数料の内訳は。

【復興建設課長】一件当たり

500円。アパート等の転入転出の際の開閉で使用している。年間200件を見込んでいる。

### 《令和2年度》 特別会計

#### 補正予算から

【問】国民健康保険と介護保険の給付費が大幅減になっている。コロナ関係で控えられたのか。又、普通徴収と特別徴収の傾向が逆転しているが、内容的にはどうか。

※普通徴収とは：納税者が税金等を納付書により直接納付すること。  
※特別徴収とは：会社等が従業員に支払う給与から差し引きて会社が納税者に代わり税金等を納付すること。

【保健衛生課長】コロナの影響で診療控え等も当然あった。地域支援事業等においてはコロナ感染拡大の影響で事業等も回数を減らした部分もある。

【問】万徳水道が村営水道と統合され、その後、小森水道が統合することにより、給水人口が5,000人を超えると簡易水道事業から上水道事業に変わるが、その違いは。

【復興建設課長】簡易水道事業

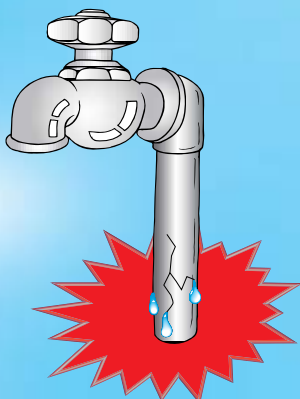
から上水道事業への移行については、給水人口が5,000人を超えた場合、地方公営企業法が適用となり公営企業会計に移行される。



漏水調査

【問】統合先の漏水調査は今現在どのようなになっているか。

【復興建設課長】合併する際に万徳水道の組合員さんと共同で1ヶ月から2ヶ月程度、漏水が落ち着くまで協力を得ながら調査していく。



# Questions

坂本 隆文 議員

一般質問

役場敷地内に求人案内用掲示板は設置出来ないか

村 長／公設掲示場を役場が設置することは考えていない!!

近隣市町村と協力して今以上の観光客を呼び込む考えはないか  
村 長／関係町村と協議を行いながら進めていきたい!!

求人案内用掲示板は  
設置出来ないか

【坂本】旧西原村商工会館横にあった求人案内板が移動とともに撤去されている、役場敷地内に同等の求人案内用掲示板は設置出来ないか。

【村長】求人案内の公設掲示場の設置については役場としては考えていない。求人情報の周知についてはハローワーク上益城・菊池より定期求人情報誌を庁舎1階で観覧できる。また、インターネットでも観覧できるので、そちらでお願いしたい。

【坂本】村内事業者や仕事を探されている方から村内の方を雇いたい、村内で働きたいと要望が上がっている。ハローワークの場所が遠すぎるのと、求人誌も他町村の求人も掲載してあるため探しにくいのご指摘を頂いている。  
本来なら商工会館の所に出すのが良いと思うが、果たして

募集を出しても求職者が見に来られるのを商工会でも悩まれている。

【村長】議員が言われる事は十分承知しているが、自治体が斡旋するのは如何なものかと考える。設置場所は商工会館だけではなく、人通りの多い所や役場に立てる等商工会で検討いただきたいと思う。

近隣市町村と協力して  
今以上の観光客を  
呼び込む考えはないか

【坂本】コロナ収束を考え南阿蘇や近隣市町村と協力して今以上の観光客を呼び込む考えはないか。

【村長】南阿蘇地域の観光関係については、現在、西原村、南阿蘇村、高森町や山都町の4町村と各観光協会で、南阿蘇観光協会連絡協議会を平成10年に設立。  
最近の活動内容としては、新阿蘇大橋の開通を機に南阿蘇地域4町村へ客を誘い込むため、2月24日からRKKテレビで15秒



間のCMを40本放送、また、平成30年度から西原村、南阿蘇村、高森町、山都町、御船町による熊本地震等で減少した来訪者を回復するために、各地域の観光素材を磨き上げながら南阿蘇地域と上益城地域が広域的に連携して、新たな観光利用が期待される九州中央自動車道を見据えた観光物産振興を展開する事業を実施するため、阿蘇南外輪周辺広域連携事業実行委員会を設立。  
5町村による周遊ルートである九州おへそロードを紹介するパンフレットの作成やキャンペーンなどを行って近隣町村とともに集客に向けた観光事業を行っている。

【坂本】今ある団体はパンフレット制作等各町村が出し合って制作しているが、いざその中身のイベント等になると全く協力なく個々で行われている。中身も協力して共通イベントなど出来ないか。

【村長】今ある協議会等で行うのか、新たな枠組みで行うのかを含め、関係町村と協議を行いながら進めていきたい。

また、西原村は村独自に観光誘致をするならと考えている。

【坂本】観光に対して何回も一般質問しているが、その先には農作物の販売や観光で訪れた方々が西原村を好きになり、移住定住促進にも繋がっているのだから入れて頂きたいと思う。





# General

## 一般質問

尾崎 幸穂議員

### 自転車損害保険加入の義務化における村の取り組みは

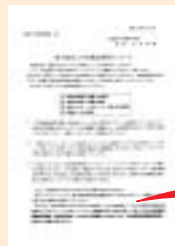
【尾崎】2月の熊本県議会において自転車損害保険への加入が義務化。また学校の長及び小売店は、自転車損害保険の加入に関する情報を提供するように努めると改正され令和3年10月1日より施行されるが、村として加入の周知などの取り組みは。

【村長】

本村では自転車損害保険の義務化以前に悲惨な事故を起こさないように予防することが大事だと判断している。



※早速自転車通学生へのプリントに保険加入義務化のお知らせを入れていただきました。



【教育長】これまでは児童、生徒の重大事故は起きていないが、昨年4月の段階で本村の中学生の77%は保険に加入している状況。県の方向を見定めつつ学校や村の各課とも協力しながら、保険加入の啓発を行うと同時に安全運転マナーの向上に努めてもらうように指導協力していく覚悟である。

また近年、自転車通学中の中高生が加害者となる交通事故で、本人や家族が高額の賠償請求をされるケースが増えています。熊本県では、令和3年10月1日より自転車損害賠償保険等（自転車保険）への加入が義務化されますので、自転車損害賠償保険等への加入をお願い致します。

### 小中学校での交通安全指導や自転車の点検・整備の取り組み

【尾崎】現在、小中学校では交通安全教室や自転車の点検・整備などは行われているか。【教育長】例年は小中学校で交通安全教室、自転車の二斉点検を行っているが、今年は臨時休校等で行っていない。

中学校は自転車通学を希望する生徒に、申請時に点検を義務化している。その他には学期に二回生徒会の安全委員会で安全点検を行っている。



山西小(交通安全指導)



河原小(交通安全教室)



西原中(交通安全教室)

【尾崎】重大な事故は起こっていないとのことでしたが、人身ではないので報告が上がってないだけで自動車と自転車の事故などは起こっている。車とぶつかった子どもは「大丈夫です」と警察、学校、保護者に報告せずに帰ってしまう場合がある。本人にケガはないが自転車が破損している事があるので、事故にあった場合の対処法なども指導していただきたいと思う。

### 自転車損害保険加入の義務化における村の取り組みは

村長／義務化以前の事故への対策予防することが大事。

### 小中学校での交通安全指導や自転車の点検・整備の取り組みについて

教育長／今年臨時休校等で出来なかったが、例年は安全教室と

自転車通学希望者への点検義務・生徒会安全委員会での点検実施。



## 公有財産公売実施!!

### 捨てればスクラップ・売れば財産!!

☆廃車予定の消防小型ポンプ積載車公売で、125万円!!

令和3年3月1日に、今年度廃車予定の小型ポンプ積載車3台が公売され、なんと、3台合計125万円で落札された。これまでは、使用期間を過ぎると業者に依頼して廃車されていたが、消防積載車は年式の割には走行距離が少なく、手入れも行き届いているため、廃車するにはもったいなく、議会側から再三にわたり公有財産の公売を申し出ていた。今回、公売実施で高額な村の財産へと替わった。今後も、積載車だけでなく、公用車、事務機器等使用期間が過ぎてても使えるものは公売し、今後も私たちの税金を大切に使うて頂きたい。



公売された消防小型ポンプ積載車

## 熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会報告

令和3年2月10日(開会)

連合議員 堀田 直孝

令和3年第1回熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会が開催された。本議会では、議案第1号から第8号まで上程審議され、全ての議案について採決の結果、賛成多数で可決された。主なものは次のとおりである。

◎令和3年度熊本県後期高齢者医療連合一般会計予算・・・賛成多数により同意

主な内容／広域連合の運営等に関する経費等に関する経費であり、歳入・歳出予算の総額をそれぞれ2億5743万1千円とする。

◎令和3年度熊本県後期高齢者医療連合後期高齢者特別会計・・・賛成多数により同意

主な内容：県下の被保険者の医療給付に係る経費であり、予算の殆どが「保険給付」となる。歳入・歳出予算の総額をそれぞれ2,928億88万8千円とする。

## 益城・嘉島・西原環境衛生組合議会報告

組合議員 宮田 勝則

令和3年第1回定例会を2月22日に開催し、副議長の選挙後、監査委員の選任同意と令和3年度一般会計予算が審議された。副議長には、宮田勝則氏(西原村議会)が推薦され決定した。また監査委員には、本村より西口義充氏が選任同意された。続いて一般会計予算を審議し、総額5億3,880万円(西原村負担額7,964万円)を全会一致で可決した。

その他では、火葬場の一般用トイレを洋式へ改修要望があり、本年度中に検討されるとの回答を得た。



# TOWARD RECOVERY

## 震度7から5年 新たなステージへ!!

復興対策特別委員会 委員長 宮田 勝則

熊本地震から5年が経過し、本村では集落再生事業も終了することになり竣工式が4月18日に開催されました。

私たち村議会もこの5年を振り返り、この再生事業に関わった多くの住民や事業者、また役場職員の努力に敬意と感謝を申し上げます。

未来の村づくり、発展へ向けて方向を村民と共に知恵を出し合いながら、進めて参りたいと考えておりますので、今後も村議会に対しまして、叱咤激励を含め多くのご意見を頂きますようお願い申し上げます。



### 熊本地震の規模・被害状況(過去の記憶)

前震／2016年4月14日21:26

M6.5 最大震度6弱

本震／4月16日1:25

M7.3 最大震度7

#### 【被害の状況】

- ◆人的被害 死者9名(関連死4名含む)
- ◆家屋・建物被害  
全壊512棟、半壊以上1,377棟(55.7%)、  
調査棟数2,473棟
- ◆解体数 2,474棟

#### 【避難所】

- ◆公的避難所5箇所 1809名
  - \* その他避難含め4,000名以上  
一時避難生活を強いられた
  - \* 震災直後多くの住民が避難所へ避難し、  
入りきれない状況で車中避難や空き地での  
避難が多くみられた。

### 被災が大きかった 6集落再生までのあゆみ

集落再生事業は本年度をもって全て竣工するが、これまでの道のりは決して平坦ではなく、険しい道のりでもあった。発災当初は道路を塞いでいた石垣や土砂などを行政だけに頼らず、避難所から集落へ帰り、自ら撤去復旧作業を始めている。また再生方法は検討段階にも関わらず「集団移転」と新聞記事で誤報が伝えられ、住民の不安は高まっていった。

そんな中、集落ごとに行政との話し合いは100回以上に及んでいる。この間、議会は各集落担当議員を選定し、行政と集落との調整役を担ってもらうことにした。最初に集落再生計画要望書が村当局と村議会に提出されたのは震災から1年3ヶ月が経過した7月末、大切畑集落からであった。翌8月には、古閑・畑・風当・下小森・布田集落からも相次いで同再生計画要望書が提出され、議会も、いち早く採択し国へ要望、早期着工へと進み始めることになった。

起工式から竣工まで3年の月日を要した事業は完了したが、集落再生は今からが本番です。住居を再建され、空き地になってしまう宅地には新たな住民が住居を構えて移り住んでいただき、元より活気あふれ、新たな絆が強く結ばれる地域になることを願います。

### 復興から発展へ(今後の課題)

#### ■人口

人口は順調に緩やかな増加傾向にあった。震災前は7,049人(H28年4月16日)から6,752人(R3年3月末現在)へと減少している、震災直後の減少で6,700人台を微少な増減で留まっている。集落内の宅地にも空き地が多くみられ、特に中山間地の集落では多いのではないかと。

#### ■新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症により、観光、飲食関連や交通輸送機関の事業者の方々やそこで働く人々にも大きく影響している。

#### ■生活必需品等買い物

生活必需品(食料品、衣料、医薬品)を取り扱う商店の減少は、震災前から聞くことがあったが震災後は集落内にあった店が廃業され困っていると、切実な課題となっている。

#### ■中山間地区(河原地区)の活性化

震災前から顕在化する人口・児童数減少から来る地域生活への不安(山焼き、区役、どんどや、敬老会等の集落行事)

COUNTERMEASURES AGAINST COVID-19

# コロナ対策 ワクチン模擬接種

## 新型コロナワクチン接種会場⇒構造改善センターにて 事前シミュレーション実施



総務福祉常任委員会委員長  
中西 義信

### 村民の皆さんに安心して 接種に来ていただくために

4月10日 構造改善センターにて、村医の野村先生・永広先生方と数名の住民の方、役場職員の協力のもと総勢約40名で本番さながらのシミュレーションを行った。

1回目は10時にスタートし高齢者の方から順に開始した。入場・受付・問診票記入・血圧、体温測定・問診票チェック・診察・接種・接種済み表発行・接種後経過観察と進み約30分で一連の流れが終了した。

11時から2回目のシミュレーション、今度は若年齢からと慣れたせいか幾分早く終了した。

終始スムーズに進んだが、幾つか気になる点もあり、対応策を今後検討できる良い機会となった。シミュレーション後の気づきとしては、配線での足のつまづき・記入テーブルの配置・血圧測定機器の使い勝手・順番待ちの問題・接種時の仕切り板(プライバシー保護)等が挙げられた。

また、血圧検査で接種できなかった方もいて、非常に実のあるシミュレーションだった。

ワクチン接種シミュレーションにご協力頂いた皆さん、本当にお疲れさまでした。

今回の体験が必ず活かされます。そして早くこの現状が終息することを願います。



①入館時検温



②受付



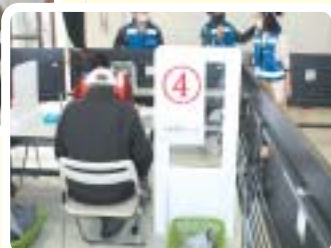
③問診票記入



④接種会場へ移動



⑤血圧・体温測定



⑥問診票チェック



⑦診察



⑫終了後反省会



⑪次回予約



⑩経過観察



⑨接種済み票発行



⑧接種





よって  
YOTTE IKINASSE  
いきなっせ

# 宮山神社《八王社》再建!!

古い石碑や灯籠、イチイガシに代表される  
照葉樹の巨木群に囲まれた境内に  
286年前のお社が蘇る!!

山下一義

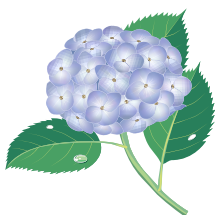
西原村宮山には、県下でも希少な江戸期からの由緒ある宮山神社がある。この神社は、5神の男神と3神の女神の8柱の神様が合祀されている。(神社入り口の看板より)

地元では、農業の神様として今も厚い信仰がある。境内には、当時馬場としても活用された長い杉並木の参道や灯籠、照葉樹の巨木がある。



静けさの中、まるでそこだけ光のスポットが当たっているかのように、社を見守る照葉樹の葉が、真新しい銅板拭きの屋根を避けている。江戸期の意匠を備えた神社の威厳を一層際立たせているのは復興に携わった名工の技である。基礎の部分に目をやると、寸分の隙間もなく台座の石に揺ぎ無く腰を下ろした社を支えているのは、古の技を磨き、守り伝えた名工の仕事であった。

熊本地震で被災直後から始まった再建計画は、令和2年9月16日の起工式から7ヶ月を経た令和3年5月3日に竣工式典を迎える。







# がんばろう!! 職場から SHOKUBA KARA KONNICHIIWA こんにちは

このコーナーでは、西原村活性化のため、村内で頑張っている方を今後も紹介して参ります。



## 水稻・WCS・大豆 栽培 藤田 誠さん・久美代さん

## 里芋・人参 栽培 山内 憲幸さん・直子さん

就農時の経営規模／水稻183㌔・WCS 193㌔・大豆10㌔  
現在の経営規模／水稻148㌔・WCS 193㌔・大豆10㌔  
将来の経営目標／水稻205㌔・WCS 193㌔・大豆20㌔

就農時の経営規模／里芋15㌔・人参50㌔  
現在の経営規模／里芋15㌔・人参50㌔  
将来の経営目標／里芋30㌔・人参100㌔・ブロッコリー20㌔

現在就農して2年目を迎えましたが、就農する前は調理師として23年勤めていました。

現在就農して2年目を迎えようとしています。就農する前は、25年間サラリーマンとして勤めていました。

親が農業をやっており、年齢を重ねるごとに親の代で漬すのはいけないと思う気持ちが芽生えてきたので、継承という形で就農を始めました。毎日毎日が勉強で農機具の使い方や田んぼの管理、肥料、消毒など両親から様々な指導を受け、日々理解を深めています。

農家をしていた両親を手伝っていた為、農業が身近な存在であったことや、前々から農業をやってみたかったこともあり就農しました。

去年は害虫等の被害があり、見込んでいた収穫量が取れず、作物の管理の重要性を痛感しました。

就農して1年目は知識もなく里芋、人参の栽培、収穫を行いました。里芋に関しては芽無し・割れなどが有り色々と考えさせられました。

今年は目標とする収穫量が取れる様、管理を徹底していきたいと思います。

両親や先輩方に肥料・消毒・灌水などを教わり、農業の大変さを実感する1年でした。農業は天候や動物の被害などが有り大変な事もありますが、良い作物ができたときは収穫の喜びを感じることができました。

また両親の行っている里芋栽培と農作業受託も覚えながら1日でも早く両親から任されるようになりたいと思います。

まだまだ経験や知識がなく不安の多い日々ですが、できるだけ早く安定した農業経営ができるように夫婦で頑張っていきたいと思います。

まだまだ経験は浅いですが、農業を通じて西原村や集落に貢献出来たらと思いますので、宜しくお願いします。  
\*WCS・・・稲発酵粗飼料



### 編集後記

熊本地震から五年が過ぎ村民の皆様のご努力とご協力のおかげで西原村の復活再建も進み、ようやく希望の光りが見える様になった中、新型コロナウイルスの影響で精神的にも、肉体的にも我慢の限界来ています。少しずつワクチン接種も行われる様になり、今まで通り村民の皆様が力を合わせ、三位一体となって素晴らしい西原村となる事を願い、この村に住んでいて良かった、西原村に帰りたい、行きたいと思う気持ちになれる様、村民の皆様一人一人の将来の希望と、活気ある誇りの持てる西原村になる事を信じています。  
文責／小城保弘

- 発行責任者 議長 山下一義
- 広報委員
- 委員長 坂本隆文
- 副委員長 堀田直孝
- 委員 小城保弘
- 委員 高本孝嗣
- 委員 尾崎幸穂